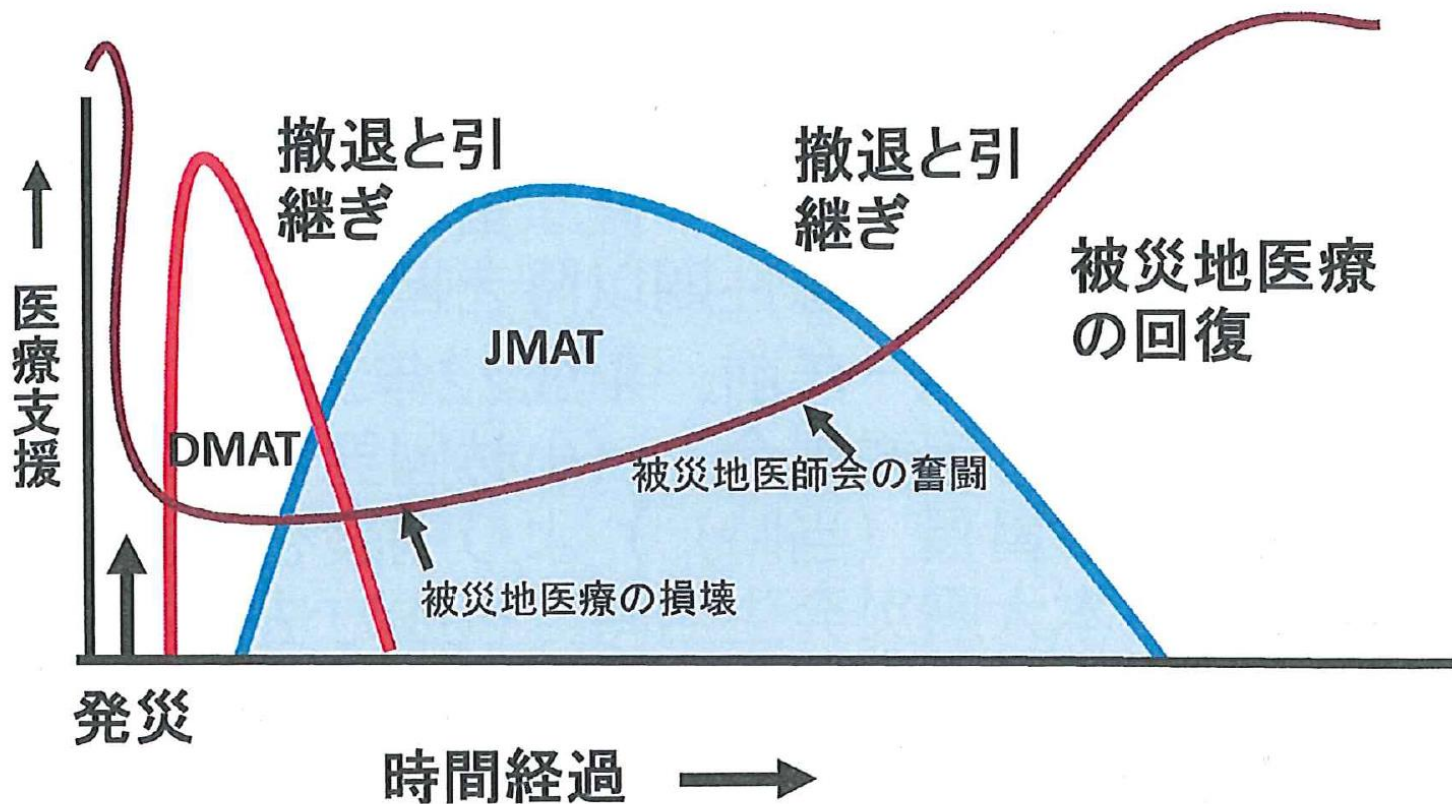


2018年11月21日
学校医部会

南海トラフ地震発生時の シミュレーション想定

本日話し合っていたのは、発災直後の2～3日間
公的には誰も助けに来てくれない期間のことです

DMATとJMATの役割分担(概念図)

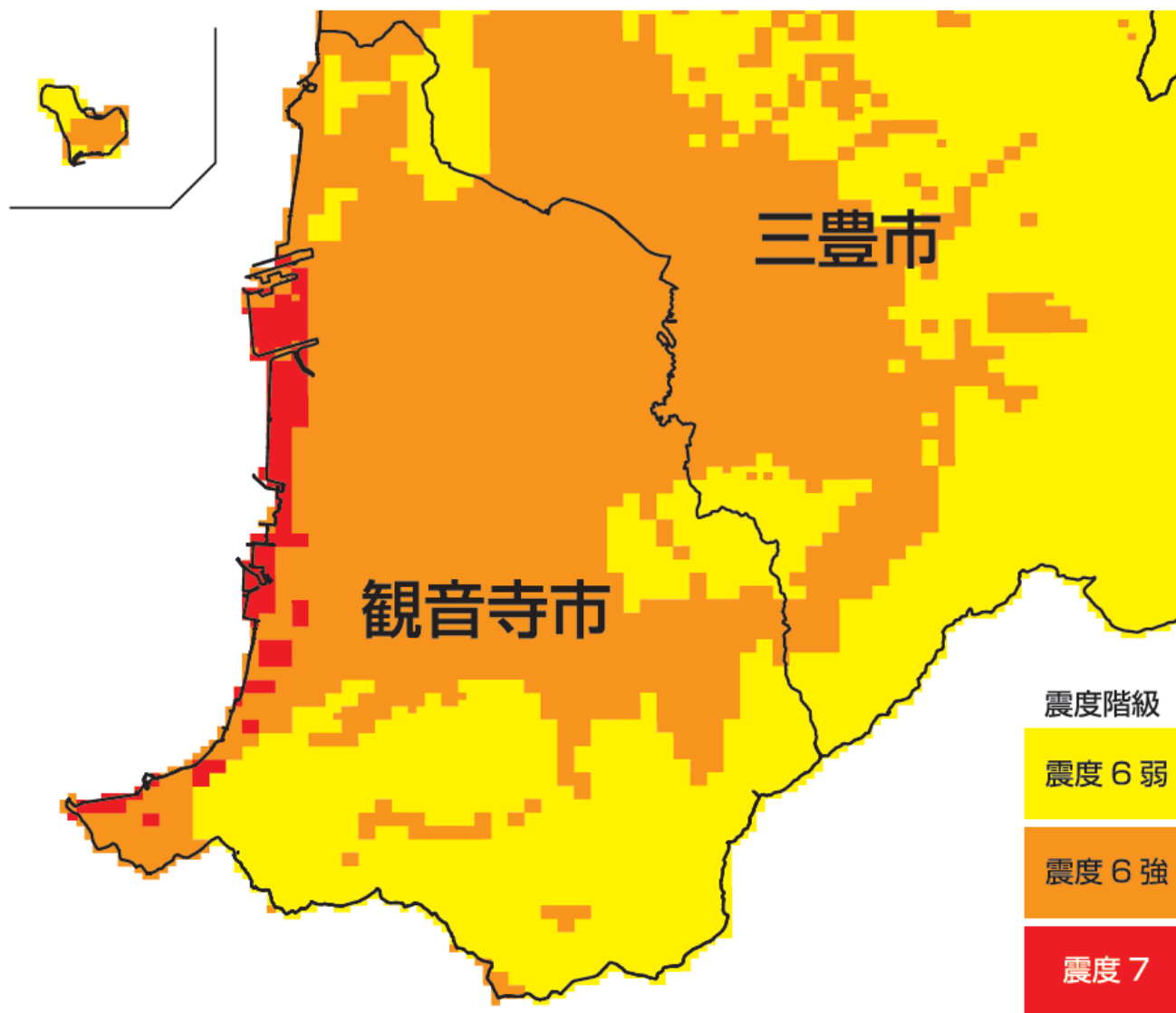


日本医師会「JMATに関する災害医療研修会」(平成24年3月10日)資料
(「DMATとJMATの連携」)(小林國男 日本医師会「救急災害医療対策委員会」委員長)

この度の設定

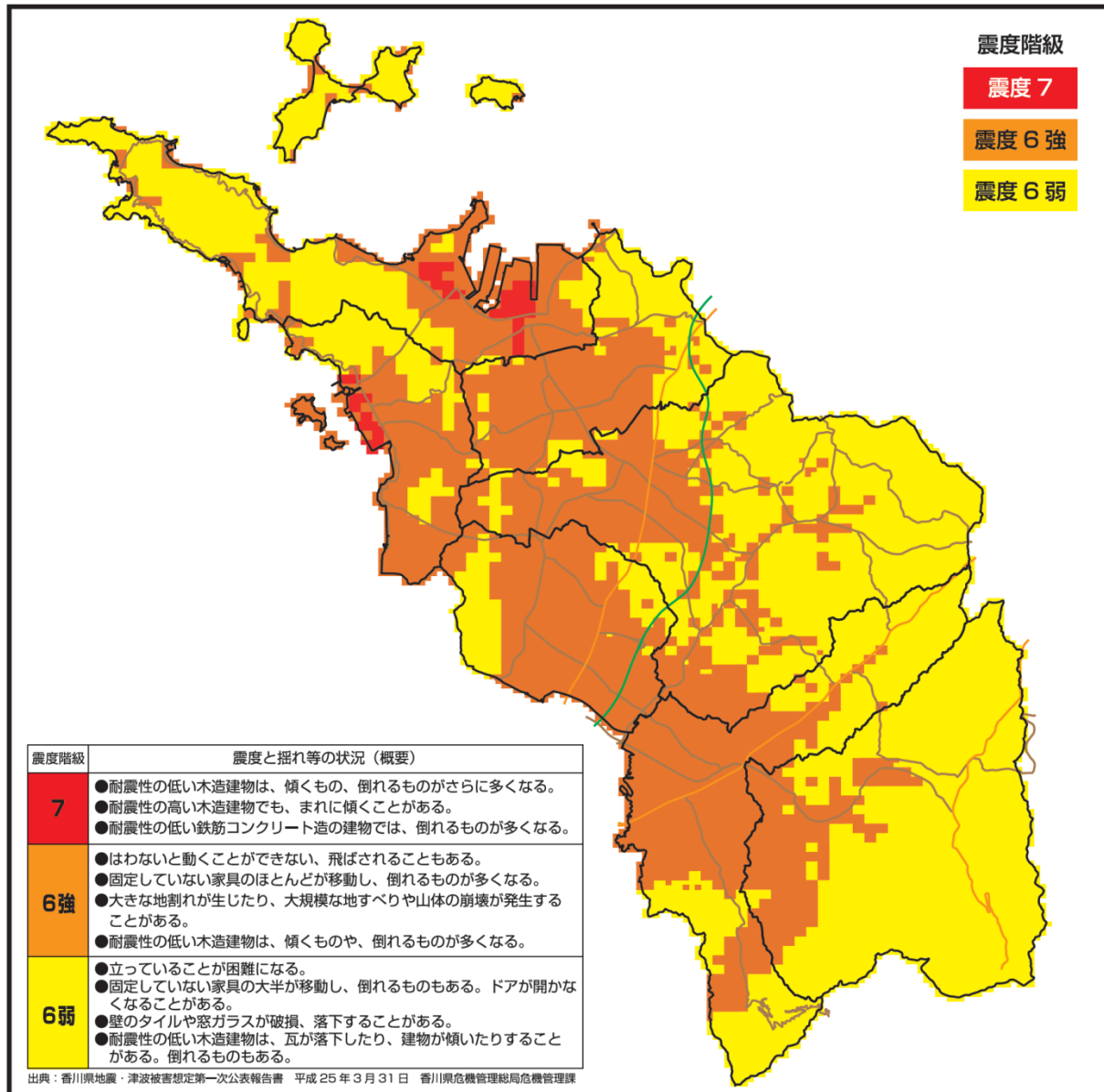
- 南海トラフ地震発生
- 11月21日(水曜日)の正午に発生
- 規模 マグニチュード9
- 三観は震度 6～7 程度

観音寺市における震度



(出典：香川県地震・津波被害想定第一次公表報告書 平成 25 年 3 月 31 日 香川県危機管理総局危機管理課)

三豊市における震度



三豊市総合防災マップより

震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



震度6強

- 立っていることができず、はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。
- 耐震性の高い木造建物は、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。



震度7

- 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなる。

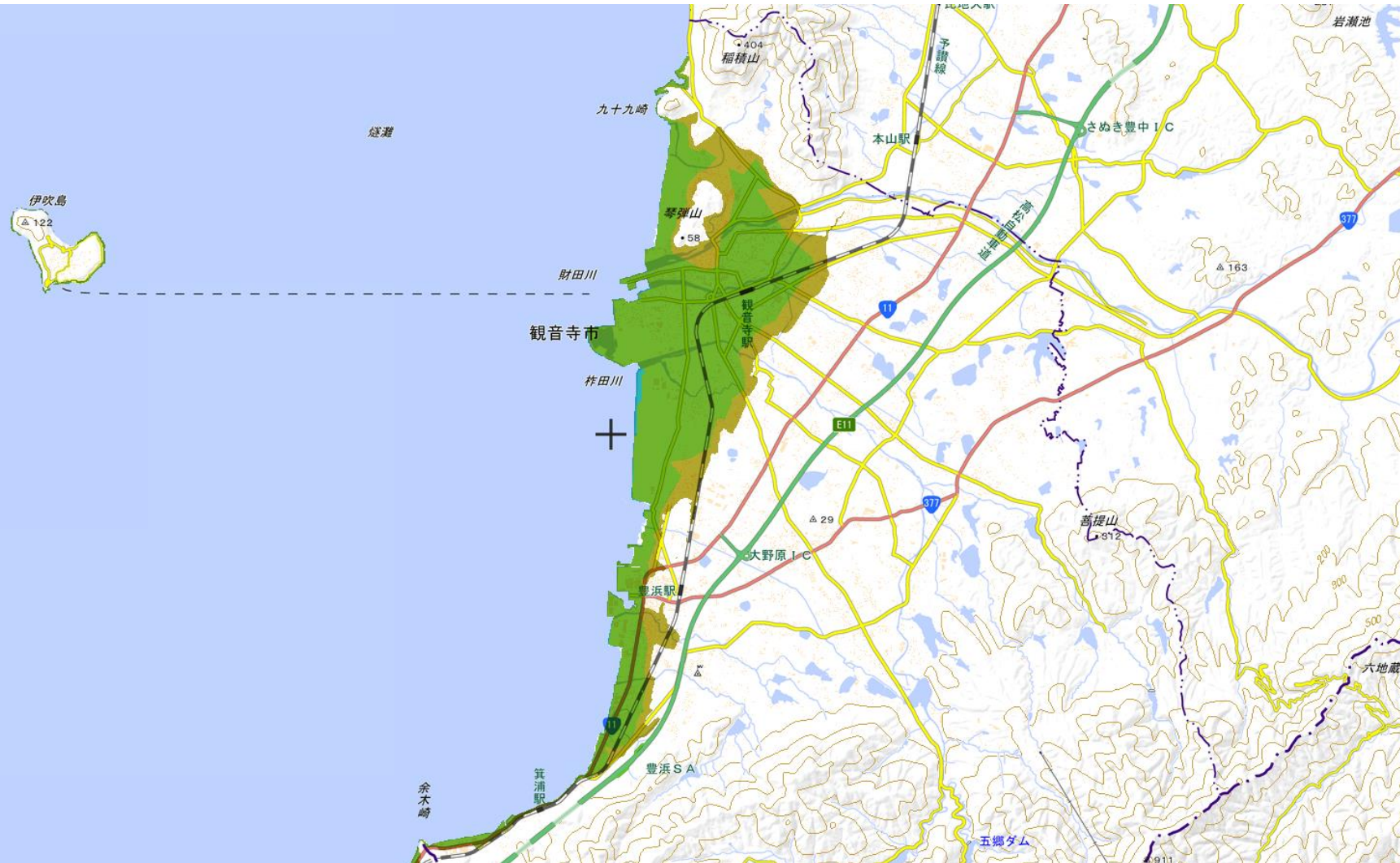


- 津波・・・第1波(16:30)、第2波(18:30)、第3波(19:15)、20時ころから波は引いてゆく
およそ4mほど

香川県地震・津波シュミレーション海域部(三観付近) 内閣府 波源ケース7 より

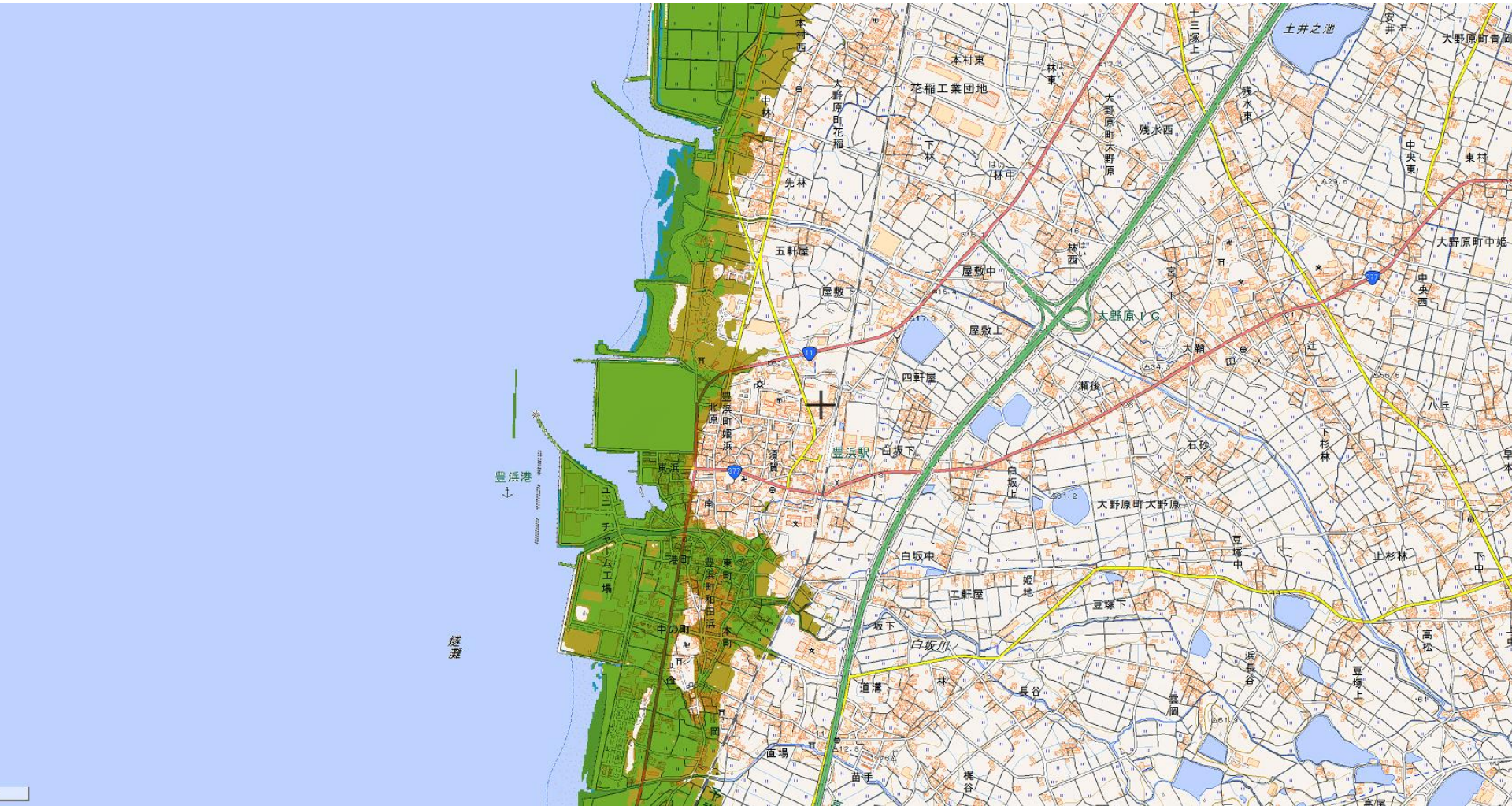
- 高波・・・今日は 大潮 満潮(9:59、21:40)
干潮(3:34、16:05)
- 火災の発生
- 液状化現象
- ため池

観音寺市4～5mの津波・高潮での 浸水地域



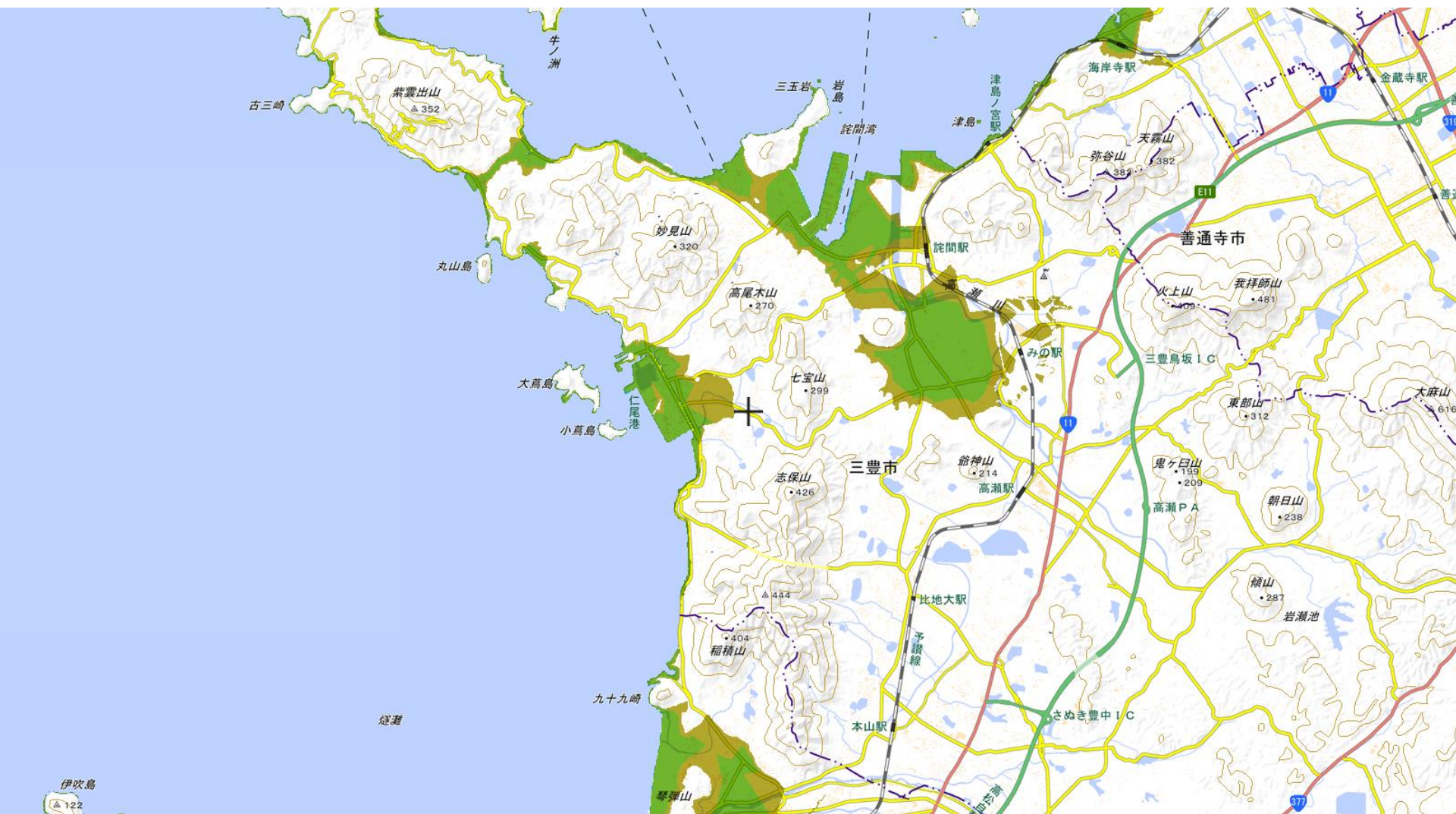
国土地理院ウェブサイトより

観音寺市三豊総合病院付近 4～5mの津波・高潮での浸水地域

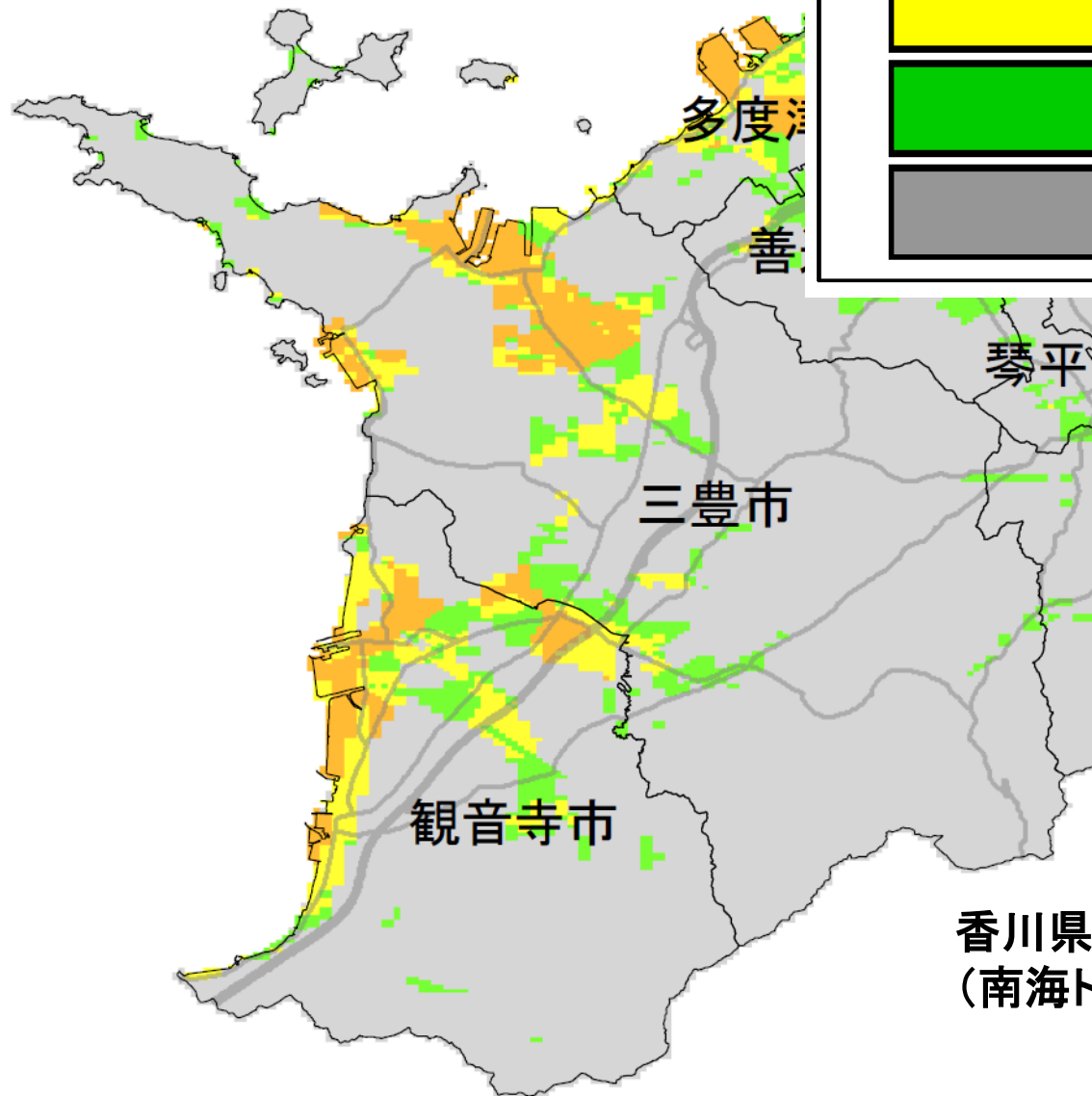


国土地理院ウェブサイトより

三豊市4～5mの津波・高潮での 浸水地域



液状化現象



危険度A
(液状化危険度はかなり高い)



危険度B
(液状化危険度は高い)



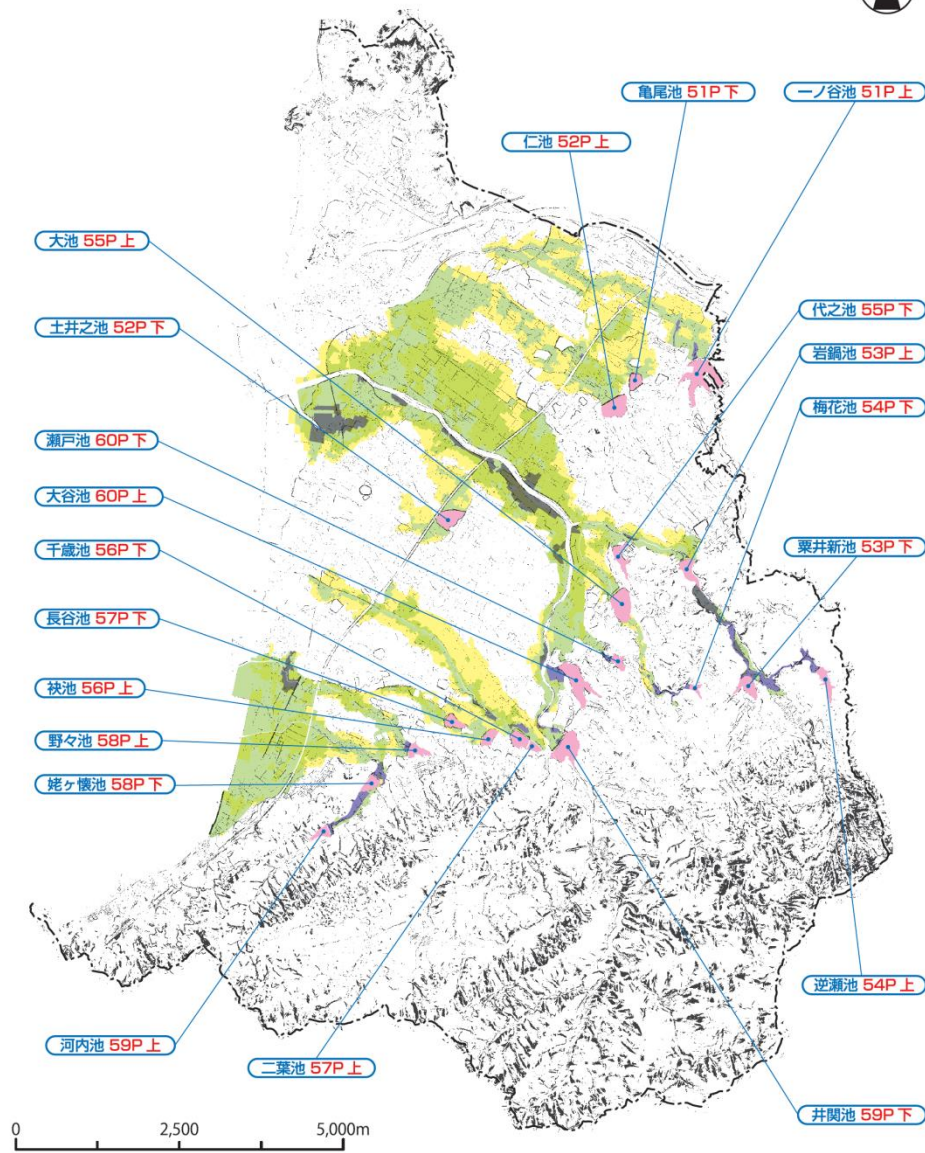
危険度C
(液状化危険度は低い)



危険度D
(液状化危険度はかなり低い)

香川県液状化危険度予測図 より
(南海トラフの発生頻度の高い地震)

ため池ハザードマップ 対象20池一覧



詳細は、関係地域に配布した「ため池ハザードマップ」または市のホームページで確認してください。

観音寺市総合防災マップ
(平成27年3月 発行)より